

製品名: TXNIP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84024**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.59mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100
分子量	Calculated MW: 44 kDa ; Observed MW: 53 kDa

抗原情報

遺伝子名	TXNIP
別名	HHCPA78; THIF; TXNIP; VDUP1;;TXNIP
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9H3M7
免疫原	ヒト TXNIP 由来の合成ペプチド

背景

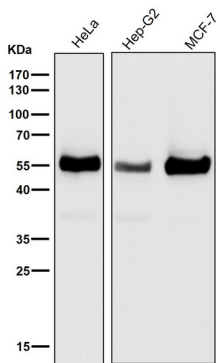
チオレドキシシン活性を阻害するか、またはそのバイオアベイラビリティを制限することで、酸化ストレスメディエーターとして作用

する可能性があります。COPS5 と相互作用し、COPS5 誘導性の CDKN1B 安定性抑制を回復させ、COPS5 を介した CDKN1B の核から細胞質への移行を阻害します。転写抑制因子として機能し、転写因子とコリプレッサー複合体間の橋渡し分子として作用する可能性があります。過剰発現は G0/G1 細胞周期停止を引き起こします。ナチュラルキラー細胞の成熟に必要です。

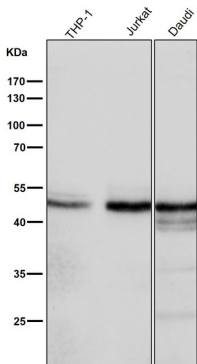
研究分野

画像データ

すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。

